

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

浪速小	学校	児童数	85
-----	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.38	18.15	27.85	33.12	47.00	9.71	128.40	20.48	47.63
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	15.03	16.31	34.87	32.38	37.81	10.00	117.39	12.13	47.66
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

本校の体力テストの結果は、男子：47.63点（大阪市51.54点、全国53.02点）、女子：47.66点（大阪市52.58点、全国53.97点）となり、男女ともに大阪市平均・全国平均をやや下回る結果となった。特に、反復横跳び・立ち幅跳びなどの敏捷性・瞬発力にかかわる種目で差がみられる。また、質問項目「運動やスポーツをすることは好きですか」に肯定的に回答している割合において男子は全国・大阪市と同程度、もしくはやや高い傾向がみられる。一方女子では、肯定的回答は一定数あるものの、男子と比較するとやや低くなっている。そして、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子は14.3%、女子は48.1%となっている。以上のことより、「運動は好き」と回答する児童は一定数存在しているが、実際の運動量が十分でない児童が一定数いる。その結果として、体力合計点が大阪市・全国平均を下回っている。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校における体力の課題として、20mシャトルランの記録が全国平均を下回っている状況がみられた。一昨年度の実技調査では、男子が全国平均より10ポイント、女子が6ポイント低い結果であった。昨年度においても、男子は0.5ポイント、女子は2ポイント下回る状況が続いていた。そこで本校では、児童の持久力向上を重点課題と位置付け、全校かけ足を継続的に実施するなど、持久力を高める取り組みを推進してきた。その結果、今年度の20mシャトルランでは、男子は依然として全国平均を下回ったものの、女子は全国平均を2ポイント上回る成果がみられた。特に女子においては全国平均を超えるまでに向上したことは、本取り組みの有効性を示す成果であると考えられる。今後とも、全校かけ足の取り組みを充実させるとともに、記録の向上だけでなく、運動に親しむ態度の育成を図っていく必要がある。

また、児童の運動に対する興味関心を高めるために、委員会活動を活性化するなどして休み時間における短時間運動の習慣化を促進していく。1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合を減少させ、日常的に体を動かす児童の育成を目指していく。